

令和8年度(第77回)以降の審査員団の編制方針

①県展審査員団候補者名簿の登録について

- ・部門ごとの登録者数が10名程度となるよう、欠員時は各部門の審査員選考委員が速やかに新たな登録者を人選し、実行委員会に諮ること。
- ・定期的に継続の意思を確認すること(事務局にて年1回実施)。
- ・部門内で専門分野が細分化される場合は、各分野の必要人数確保に努めること。
- ・会派にとらわれず、多様な分野から人選すること。
- ・若年層、壮年層の候補者の人選に努めること。

②県展審査員団の編成案について

- ・県展審査員候補者名簿より、毎年度、各部門4名程度選考すること。
- ・過去3年の県展審査員団と同一の県展審査員団の編成は避けること。

# 県展審査員団の編成案(第77回)

部門	協会員	R8	R7	R6	R5	R4
		第77回	第76回	第75回	第74回	第73回
日本画	杉山 洋子	○		○	○	
	渡辺 章雄	○	○		○	○
	中庭 隆晴	○	○	○		
	水野 収	×	○		○	
	中尾 壽男	×		○		○
	高橋 直人	○		○	○	
	藤本 静宏	○		○		新○
	岡川 孔	○		○		新○
	清水 正志	×	新○			
	岸本 志津	○	新○			
	洋画	平井 利明	○	○	○	○
岡田 俊一		○	○			○
竹原 邦樹		○	○		○	
今中 和義		○	○	○		○
岡崎 浩		○	○	○		新○
廣吉 壽史		○	新○			
南城 守		○	新○			
福西 三千春		○				
彫刻	杉村 仁	○	○			○
	石増 敏枝	○		○	○	
	鈴木 正三	○	○	○		
	大家 勝	○	○	○		○
	堀 信二	○	○			○
	鎌田 仁	○	○		○	新○
	木村 光治	○	新○			
工芸	今西 方哉(陶)	○		○	○	
	森本 恭子(織)	○			○	
	井上 楊彩(人)	○		○	○	
	脇田 宗孝(陶)	○	○	○		○
	兼先 恵子(染)	○	○			
	岸本 圭司(漆)	○		○		○
	坂本 曲斎(木工)	○			○	
	木村 美智子(人)	○	○		○	新○
	中井 由希子(染)	○	○	○		新○
逸崎 いつ子(陶)	○	新○				
書芸	吉川 美恵子(仮)	○	○	○		○
	豊 散山(漢・篆刻)	○	○		○	○
	山本 高邨(仮)	○		○	○	
	池田 毓仁(漢)	○		○	○	
	喜多 芳邑(漢・篆刻)	○		○		○
	植林 山華(仮)	○	○	○		新○
	河合 鷹山(仮)	○		○	新○	
	山本 肇一(漢)	○	○		新○	
写真	澤 戡三	○		○		○
	椿本 九美夫	○	○	○	○	
	近藤 芳嗣	○		○	○	
	上山 好庸	○	○	○	○	
	本塚 勝康	○	○		○	○
	梅本 隆	×	○	○		○
	山本 眞弓	×	○	○	○	
	久保田 秀典	○		○		○
	森川 光章	○		○	新○	
	水野 伸治	×			新○	
	石津 武史	×		○	○	

R8推薦

R8推薦

## 第 7 7 回奈良県美術展覧会の審査員選考について

### 推 薦 概 要

氏 名	推 薦 理 由	選考委員
福西 三千春 (洋画部門)	<p>具象・抽象の絵画に精通し、独創的な絵画を探求され制作発表されている。また、教育者として後進の育成にも尽力されていた。</p> <p>1955年 奈良県葛城市に生まれ 1978年 東京芸術大学油画科卒業、安宅賞受賞 1991年 上野の森絵画大賞展特別優秀賞(美ヶ原高原美術館賞) 受賞 1995年 時代を見る眼展(長野・美ヶ原高原美術館) 1996年 昭和会展招待出品(日動画廊) 1998年 '99 俊英作家小品展(銀座スルガ台画廊) 2010年 '12、'14、'16、'18、'21 世界文化遺産姫路城現代美術ビエンナーレ参加 白鷺賞受賞、播磨文化大賞受賞 2014年 日仏現代美術交流展(M1 ギャラリー、大阪) 2015年 イタリア+日本現代美術展(イタリア) 2017年 堀尾貞治と創造者展(ギャラリー・菊、大阪) 2020年 「三人の方位」、沓間宏、河村正之、福西三千春(銀座、うしお画廊) 2023年 「明日香の匠」展、特別出品(万葉文化館) 7月世界文化遺産姫路城現代美術ビエンナーレ展参加 個展 '88～'15(銀座スルガ台画廊) 輪輪展'19、'22、'25(ギャラリー勇齋・奈良) その他、コンクール展、グループ展、個展多数 所蔵 美ヶ原高原美術館(長野県)</p> <p>現在、日本美術科連盟会員、奈良県美術人協会会員、奈良市美術家協会会員、(公財)喜多美術館理事長、奈良学園大学名誉教授</p>	岡田 俊一

## 第77回奈良県美術展覧会の審査員選考について

## 推 薦 概 要

氏 名	推 薦 理 由	選考委員
木村 光治 (彫刻部門)	毎年県展に大作を出品いただき、氏の創作力を高く評価しております。  1947 京都生まれ。 1965 京都市立洛陽工業高校卒業。 1971～小豆島石彫の里運動に参加する。 1980 京都彫刻展にて新人賞を受賞する。 1981～85 毎年個展を開く。 1985～作庭。 1987 奈良三条通りモニュメントを共同制作する。	杉村 仁